

2016 年度第二回次世代陸モデル開発検討会 (1/11 改訂)

2016 年 1 月 11 日 (水) 13:00-17:30 (会場は 12:00-18:30 まで空いています)

東京大学本郷キャンパス工学部 1 号館 13 号教室 (1 階 122)

プログラム (敬称略)

13:00 趣旨説明および参加者の自己紹介 (芳村)

13:10 モデル開発主体からの現況報告および話題提供

13:10-14:10 東京大学での取り組み

13:10 新しい陸モデルフレームワークを用いた全球オフライン実験 (新田)

13:25 Introduction of GSWP3/LS3MIP (Kim)

13:45 LGM におけるダストの気候への影響 (大石)

14:05 洪水予測における陸モデルの利用 (石塚)

14:10-14:20 休憩

14:20-15:20 国立環境研での取り組み

14:20 陸域生態系モデル VISIT の紹介 (伊藤)

14:40 環境研での H08 と MATSIRO の作業状況 (花崎・高田)

15:00 陸域統合モデルの現状と展望 (横畠)

15:20-15:30 休憩

15:30-16:30 JAMSTEC での取り組み

15:30 GTMIP での MATSIRO の性能評価: 熱・水・炭素収支 (齊藤)

15:45 MIROC-ESM(CMIP5 ver)のユーラシア北部の将来気温上昇における積雪アルベドフィードバックと植生マスキング効果 (阿部)

16:00 全球高解像度地形データ整備の現状と、陸域モデリングへの応用 (展望) (山崎)

16:15 新 ESM における陸面モデルと開発進捗 / その他 (羽島)

16:30-16:40 休憩

16:40-17:10 ゲストによる話題提供

16:40 積雪汚染モデルの改善計画 (安成)

17:00 MATCRO の開発 (増富, 代理講演安成)

17:10-17:30 江守さんからの一言, 総合討論

18:00- 懇親会 (本郷 3 丁目駅 加賀屋本郷店)